

今月の特集

太陽と上手に
付き合う家

太陽の動きは一年を通じて常に変化しています。その太陽の動きをきちんと把握してコントロールすることで、いつも明るく快適に過せる理想の家づくりについて、方角にポイント当てて詳しく紹介していきます。

家を建てる前に
太陽の動きをチェック

当然ながら、太陽は東から昇り、昼は南に、そして西に沈みます。ただしこれは春分や秋分の話で、例えば、一年のうちで最も太陽が出ている時間が長い夏至であれば、太陽は北東から昇り、北西に沈みます。また逆に、太陽の出ている時間が最も短い冬至では、太陽は南東から昇り、南西に沈みます。部屋や窓の位置で、どの方角から太陽光が入ってくるのかにより、家の快適性は大きく左右しますので、これから土地を購入して家を建てるのであれば、実際に、方位磁針を持って現地に行き、土地の方角を確認することをお勧めします。

季節ごとの窓の位置を考える場合、真夏の強烈な西日を遮って部屋が暑くなるのを和らげるには、北西の位置に窓を設置するのは避けるべきでしょう。また冬は、全体的に日照時間が短くなるので、できるだけ太陽光を家の中へ取り込めるよう、午前中から日差しが取り込めるように南東の位置に窓を設けると良いでしょう。

南向きの家は最適ではない？

「明るく暖かい家は絶対南向！」と考える方は多いと思いますが、果たして

それは本当に良いのでしょうか？ 南向きの家にするということは、反対側には当然、北向きの面ができることになり、一年を通して日の当たらない場所ができてしまいます。また、夏の間は南向きに配置したリビングが暑くなりすぎて、日中は快適に過ごすことができないということにもなりかねません。一見、南向きは良い家だと考えるかもしれませんが、最適というのには難しいかもしれません。

太陽光を考えると、真南に向いている家よりは、むしろ、南東向きの家をお勧めしたいです。南東向きであれば、太陽光が東から入る午前中は、北東の面と南東の面の2面から光が入り込むこ

とになります。特に日照時間が短い冬場には、南東から昇り南西に沈む太陽光を長い時間しっかりと取り込むことができます。日中のどの時間帯でも太陽光が当たる面があるということは、日差しをたっぷり取り入れる部屋、必要最低限の日差しを入れる部屋など、部屋作りのコントロールが容易になります。

太陽光の取り込み方を工夫することで、自然エネルギーを最大限に活用した快適空間をつくる。この考え方を、圧倒的な高断熱・高气密を誇る「FPの家」と組み合わせれば、驚くほど光熱費を年中節約できる快適な住まいを実現することが可能となります。



住まいの知恵袋

パーゴラ

公園のベンチの上や住宅の庭先などでよく見かけるオシャレアイテムのパーゴラ。日本では昔から藤棚(ふじだな)などの呼ばれ方で親しまれてきました。パーゴラは元々、イタリア語でブドウ棚を意味する言葉。強い日差しを避けて風通りの良いブドウ棚の下で休んだことから、やがてブドウ棚としてではなく、庭で快適に過ごすためのツールとして普及したのが始まりだと言われています。今では庭のテラスとして、また、バラなどのつる植物性を育てるために設置するなど、用途によってさまざまなカタチで発展しました。ニーズにあわせて木製、アルミ製、布のシェード付きパーゴラなど、いろいろなスタイルを選ぶことができます。



できた! / 簡単DIY

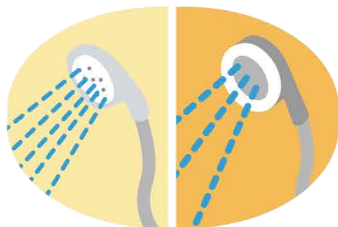
カフェ風オーニング



夏の直射日光が室内に直接入るのを防ぐオーニング。オシャレなカフェの窓の上などでよく見かけますね。今回はそのオーニングを室内の窓の上に飾って、部屋をステキに変身させましょう。

用意するのは、オーニングを取り付けたい窓の大きさに合わせたサイズの布とつっぱり棒2本。はじめに、窓のサイズを測りサイズに合わせて布をカットして、つっぱり棒が入るように布の端を輪になるように縫い合わせます。布の端にある輪につっぱり棒を通して窓の上部につっぱって固定します。その手前の下方向にもう一本のつっぱり棒を固定して、そこに布をかけたら完成です。布の端を波のようにカットすれば雰囲気もアップ。ぜひお試しください。

お金の豆知識



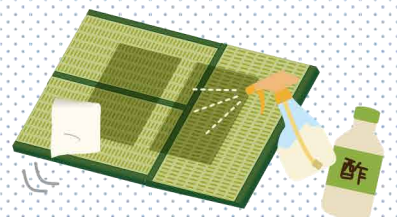
水道代を節約するヒント

暑い夏に上がりがちな水道代。節水は家庭で最も水が使われる風呂場に注目! 浴槽の湯量を減らしたり、追い炊きは効果大ですが、節水タイプのシャワーヘッドに交換するのもGOOD。キッチンでは、手洗いから食器洗い機に変えるのも長期的には経済的。蛇口に節水アダプターを付けても効果が期待できますよ。

教えて! Dr. 住まいる

畳の日焼け対策

畳の上の家具を移動させると、その部分だけ緑色。そんな時はお湯とお酢を2:1で混ぜた水溶液を日焼けしている部分に霧吹きして乾いた布で乾拭きしたあと、よく乾燥させてください。完璧とまではいきませんが、ある程度は色が戻ります。なお、年数が経ち過ぎていると効果はありませんのでご注意ください。



暮らしの1ポイント



ひまわり

「私はあなただけを見つめる」という花言葉を持つひまわり。花は常に太陽を追うような動きをしますが、これは太陽の光が当たらない側の茎が、当たっている側の茎よりも伸びやすいという特徴があるため。同様に、ダリアや百日草、マリーゴールドなども太陽光に向かって屈曲する向日性がある植物です。